

# 六番だより



## 夏の交通安全 やまびこ運動



期間 7月22日(土)～7月31日(月)

### ①子どもを始めとする歩行者の安全確保

- ・横断歩道の手前でスピードを落とし、歩行者がいる場合は必ず止まりましょう。
- ・保護者の方は、お子さんに安全確認について繰り返し注意を促しましょう。
- ・夜間は反射材を身につけましょう。



### ②自転車等の交通ルール遵守とヘルメットの着用促進

- ・自転車乗用時のヘルメット着用が努力義務になりました。命を守るために、ヘルメットを着用しましょう。
- ・自転車も車両です。交差点では一時停止をして、左右の安全確認を確実に行いましょう。



### ③高齢運転者の交通事故防止

- ・通り慣れた道であっても、油断せずしっかりと安全確認を行いましょう。
- ・運転に不安を感じたら、家族や安全運転相談窓口(＃8080)などに相談しましょう。



### ④飲酒運転の根絶

～飲酒運転四(し)ない運動～

- 「①飲んだら乗らない」「②乗るなら飲まない」「③乗る人には飲ませない」
- 「④飲んだ人には運転させない」飲酒運転を「許さない」社会にしましょう。



## 夏山遭難防止



夏山シーズンとなりました。昨年の山岳遭難は7月、8月だけでも100件発生し、遭難者は、死者7人、負傷者51人、無事救出者52人の合計110人に上ります。

遭難の態様としては、転倒や転落・滑落が最も多く、下山中の遭難が目立ちます。年齢別では40歳～50歳代が約36%、60歳以上が約46%で、40歳以上の中高年齢層の遭難者が全体の約8割を占めています。

日程や登山コースは、自分や仲間の体力・技術に合っているのか確認し、無理のない安全な登山計画を立てましょう。

事前に登山計画を作成し、家族や友人、職場等に話すとともに、県電子申請や日本山岳ガイド協会登山届提出システム「コンパス」等を活用し、提出してください。岩管山に登山する際は、登山計画書の提出が義務付けられています。

体力不足のため途中で行動不能となる遭難も見受けられます。日頃からトレーニングを行うとともに、入山前に体調に不安がある場合には、登山を中止してください。

山の天候は変わりやすいです。夏でも降雨の中、雨具がなく濡れたまま行動し、登山道で低体温症となり遭難した事例もあるため、雨具などの装備は必ず携行するようにしてください。